

令和7年度 読書寸感文集

浜松工業高等学校 図書委員会



学年		科	寸感文
クラス	1年	C	物語は被害者の視点から始まり理不尽な恐怖に直面する。しかし物語の視点は加害者へと替わり動機が明らかとなっていく。彼らの行動は許されないが、その背景にある1人1人の気持ちに共感している自分がいた。この小説の最も重要な問いは「正義とは何か」である。事件を起こした彼らを罰することが本当の正義なのか。それとも彼らを人のために起こしたと捉え褒めるのが正義なのか。今を生きる全員が向き合うべきテーマであると思う。
氏名	* * * *		
書名	You		
作者名	五十嵐貴久		

学年			科	寸感文
クラス	1年	C	<p>絵を観て「なんかよかった」で終わることが普通だろう。かく言う私も絵画を観てもきれいやすいといった薄い感想しかもてずにいた。しかし、絵画に描かれた少女や神様の物語を理解するだけで、深い鑑賞の出発点に立つことができる。私も「なんかよかった」で終わらず少女や神様の思いを考えられるようになった。私は、伝えたいことや考えてほしいことを絵にし、たくさんの人が意見を出せる環境を大切にしたいと感じた。</p>	
氏名	* * * *			
書名	絵画の観方			
作者名	井上響			

学年			科	寸感文
クラス	1年	D		
氏名	* * * *			
書名	ラーゲリより愛を込めて			
作者名	辺見じゅん			

どんな時も希望を捨てない主人公山本幡男は「さよなら」を言わない人だった。

本文には「もう二度と会えない。だからこそそのさよならなのだ。」と書かれていた。「さよなら」は本当の最後に使う言葉なのだと知った。私はこれから、何が起こるかかわからない世の中で「さよなら」という別れを伝えるのではなく、「またね」という約束を交わしたい。苦しい時は、山本に勇気を貰い、人生を純粋に楽しんでいきたいと思う。

学年		科	寸感文
クラス	1年	D	<p>思っていることを言葉にできない、上手く話せない、そんな自分に嫌気がさしていた時この本に出会いました。</p> <p>誰にも話せない悩み事を抱えている時、「自分と対話する方法」として日記を書くことを物語の中で教わり、主人公と自分自身を重ねて読むことで、主人公と共に自分の内面と向き合い深く理解することができ、自分なりの自信につなげることができました。今後も自分と向き合う時間を大切にしたいです。</p>
氏名	* * * *		
書名	さみしい夜にはペンを持て		
作者名	古賀史健		

学年		科	寸感文
クラス	1年	A	主人公たちが繋いだ駅伝の襷には多くの想いが籠っている。それは、大きなプレッシャーであると同時に大きな力をくれる温かいものであると思う。そんな襷と向き合い、しっかりと次につないだ主人公たちの姿に私は勇気をもらった。数年後、私が社会人になったとき、私も重い襷を受け取ることがあると思う。そんなとき、この本を思い出して、私も多くの想いや困難と真っ直ぐに向き合って、しっかりと襷を次へと繋いでいきたい。
氏名	* * * *		
書名	あと少し、もう少し		
作者名	瀬尾まいこ		

学年		科	寸感文
クラス	1年	A	思春期の少女とおばあちゃんの静かな交流を書いた物語。生きる上で自分で選び、選択に責任を持つことの大切さを教えてくれる。おばあちゃんの穏やかな生き方や言葉は、自分が不安なときにそっと寄り添ってくれるような感じがした。「自分で決める力」の大切さを改めて感じ、小さな選択も大事にしたいと思った。これから、悩みや不安にとらわれすぎず、日々の小さな喜びを大切に自分らしい人生を歩んでいきたい。
氏名	* * * *		
書名	西の魔女が死んだ		
作者名	梨木香歩		

学年		科	寸感文
クラス	1年	P	<p>この本は漢字一文字がどのような意味をしめしているのか、そこから関連づけられた自分たちの幸せな体験が楽しく書かれています。</p> <p>また、一つ一つの字で区切られているため、自分のようなあまり読書をしない人でも読みやすい本になっています。</p> <p>僕のおすすめの字は「涙」です。涙とはしと戻であなたを本来の自分にもどしてくれるから、辛いときは泣いていいという言葉が自分にひびきました。</p>
氏名	*****		
書名	漢字幸せ読本		
作者名	ひすいこたろう&はるねむ		

学年			科	寸感文
クラス	1年	P		
氏名	* * * *			
書名	ホームレス中学生			
作者名	田村 裕			

もし突然家を失ったら、あなたはどのように生きていきますか。この本はお笑い芸人である麒麟の田村裕さんの実体験を描いた本です。中学2年生の頃、家に帰ると父に突然「解散」と言われいわゆる「ホームレス中学生」になった田村さんがどのように生き抜いていくのか、また自分の生活と照らし合わせることで、今の与えられている環境がどれだけ人の優しさに支えられているのかを実感します。絶望の中でも前を向くことの大切さを知りました。

学年 科			寸感文
クラス	1年	Ma	私はこの本を読んで、働くことはお金のためだけではなく、人の役に立つことだと知りました。最初は働くことは生活するために必要なお金を稼ぐためというイメージが大きかったけれど、ありがとうを生み出すことが本当の働きだ、という言葉を読んで、強く印象に残りました。私は友達や家族を手伝ったときにありがとう言われてうれしかったことがあり、働くことは人を喜ばせることだと感じました。将来は人に感謝される仕事をしたいです。
氏名	* * * *		
書名	君はなぜ働くのか		
作者名	永松茂久		

学年			科	寸感文
クラス	1年	Ma		
氏名	* * * *			
書名	君たちはどう生きるか			
作者名	吉野源三郎			

コペル君が悩みやつらいことに向き合いながら成長していく姿が心に残った。今、僕は部活でけがをして思うように練習ができず、落ち込んでいる。でもコペル君のように、苦しい時こそ下を向くのではなく、前を向くことが大事だと思った。すぐ治すことはできないけど、自分と向きあいながら焦らず、少しずつ成長してけばよいと気づけた。これからもこの本から学んだ前向きな気持ちを大切にしていきたいと思います。

学年		科	寸感文
クラス	1年	Mb	私がこの本を読んだきっかけは、ふとスマートフォンの使用時間を見た時に、毎日、数時間使っていることに気づき、それを改善しようと思ったからです。この本は、人間の脳がどのようにしてスマートフォンに依存するかが書かれています。人間の脳の仕組みを理解することにより、スマートフォンの使用時間を制限することは、現代の人々にとって必要な力だと思います。時間を有効的に利用していきたいです。
氏名	* * * *		
書名	スマホ脳		
作者名	アンデシュ・ハンセン		

学年		科	寸感文
クラス	1年	Mb	<p>この本は現代から戦時中へ迷い込んだ少女と、そこで出会う青年との物語を通して、平和の尊さを深く考えさせられる作品でした。時代や価値観の違いに戸惑いながらも、互いに心を通わせていく姿は、青春を感じてとても心が熱くなりました。しかし、戦争が二人の未来を奪ってしまう展開には強い切なさがあり、うるっときました。読み終えた後、当たり前の日常が当たり前ではないと知り、平和ボケせずに生きていきたいと思いました。</p>
氏名	*****		
書名	あの花が咲く丘で君とまた出会えたら		
作者名	汐見夏衛		

学年			科	寸感文
クラス	1年	E		
氏名	* * * *			
書名	むかしむかしあるところに、死体がありました。			
作者名	青柳碧人			

僕がこの本を選んだ理由は、僕が今まで読んだ小説の中で最も印象深かったからです。この本は昔話とミステリーをかけた異質な物語が特徴であり、登場人物や物語の背景は昔話そのものですが、途中から題名通り事件が起き、予想を何度も裏切る先の読めない展開が続きます。僕がこの本で学んだことは、読者に勘違いを起こさせ、後に真実を告げるという作者の巧みな文章の書き方です。自身のこれからの言葉選びにつながるからです。

学年			科	寸感文
クラス	1年	E		「解散！」と父に言われ家庭が崩壊し、家を失った中学生の本である。私はこの本を読み作者の前向きな姿勢に心を打たれた。ホームレス生活が楽しいという考え方や、いつでもポジティブな考え方がすごいと思った。自分が作者の立場に置かれた場合、自分だったら親に反抗したり、警察に相談したりするだろうと思った。私はいつもネガティブ思考なため、ポジティブに前向きな思考を増やしていき、作者のような前向きな人になろうと思う。
氏名	* * * *			
書名	ホームレス中学生			
作者名	田村裕			

学年			科	寸感文
クラス	1年	Ei		
氏名	* * * *			
書名	銀河鉄道の夜			
作者名	宮沢賢治			

僕は、この本を読んで、本当の幸せは他者のために生きること
で得られるものだという宮沢賢治のメッセージを読み取りまし
た。特にこのメッセージを読み取れた場面は、ジョバンニが「誰
もがほんとうにいいことをしたら、いちばん幸せなんだねえ」と
いうセリフを言った場面です。このセリフから読み取ったメッ
セージを生かし、これからは他者のために何かする事を大切に
して生きていきたいです。

学年		科	寸感文
クラス	1年	Ei	「あと少し、もう少し」その一言が、悩みや不安を抱える部員の背中を何度も押していく。この物語は中学駅伝を舞台に、タスキを繋ぐように視点に移り変わる構成が特徴的だ。そのため、部員一人ひとりの抱える悩みや、不安が丁寧に描かれ、それに向き合い、前進しようとする各登場人物たちの姿に勇気をもらえる一冊だと感じた。また、語り手が変わると同じ場面でも別の印象を受けるため、この本は、ぜひ二回以上読んでみてほしい。
氏名	* * * *		
書名	あと少し、もう少し		
作者名	瀬尾まいこ		

学年		科	寸感文
クラス	1年	R	「日韓の架け橋になりたい。」そんな想いを持った青年の人生を綴った物語である。この本を読んで思うことは「一つの勇気は次の誰かを動かす。」ということだ。「勇気」という火種が連鎖して周りを変えていく原動力となる。しかし私はなかなか一歩前へ進む勇気が湧かず、「だって…」や「～だから。」など言い訳の言葉ばかりを考えてしまう。そんなときにこの本は味方してくれる。私もこの青年のように誰かの誇れる存在になりたい。
氏名	* * * *		
書名	あなたを忘れない		
作者名	康 熙奉		

学年		科	寸感文
クラス	1年	R	シャルル・ペローの童話集、それは子供の頃に読んだ絵本の中の世界とは少し違う。シンデレラのガラスの靴は、魔法の夜の怖い夢じゃなくて、王子様の元へたどり着くための道具。眠れる森の美女の王子様は、キスでヒロインを起こすロマンチックな存在より、100年の眠りを終わらせる「解決策」だ。おとぎ話の裏に隠された、少しリアルで残酷な教訓にゾクっとさせられる。白だけじゃない、ビターチョコみたいな魅力がある。
氏名	* * * *		
書名	ペロー童話集		
作者名	シャルル・ペロー		

学年			科	寸感文
クラス	2年	C		
氏名	* * * *			
書名	ことり			
作者名	小川洋子			

私はこの本を読んで、一人の、静かに流れていく人生を見られた気がしました。その人の人生は、どこか苦しく、それでいて、愛する小鳥の歌の中息途絶えた、幸せな最期でした。人生は悪いことばかりでもなく、良いこともそう長くは続かないと、この物語から感じました。それでも、人には必ず終わりが来るから、いつ終わりが来てもいいように、できる限り後悔のないように、選択して生きていきたいと思いました。

学年			科	寸感文
クラス	2年	C		この本は、時間がテーマの物語で、時間泥棒から、人々の時間を取り返すモモのお話です。現代の人は、時間効率を重視している気がします。だから、人間が時間を節約するほど、生活が痩せほそるという所が印象に残りました。この本を読んで、時間の大切さや人間関係、生き方について考えさせられました。時間の節約を目的とせず、人とのつながりを楽しみながら、限られた時間をどう大切に過ごすか考えながら生きたいと思いました。
氏名	* * * *			
書名	モモ			
作者名	ミヒヤエル・エンデ			

学年			科	寸感文
クラス	2年	D		
氏名	* * * *			
書名	夏の庭 The Friends			
作者名	湯元香樹実			

死んだら、どうなるんだろう。誰もが一度は考えた事があるのではないのでしょうか。この本はそんな疑問から、少年三人組が今にも死にそうなある老人を観察する物語です。老人が死ぬその瞬間を、この目で見るために。しつこく付きまとう少年たちと張り合って元気を取り戻していくおじいさんとのちょっぴり不思議な友情物語を、夏の庭の思い出を、あなたも「観察」してみませんか。コスモスの花の香りがあなたの元にも届くはずです。

学年			科	寸感文
クラス	2年	D		
氏名	* * * *			
書名	今日のハチミツ、あしたの私			
作者名	寺地はるな			

「もし明日人生が終わるとしたら、きっとわたしは、喜ぶ。」表紙の思わず食べたくくなるようなパンケーキの絵とのギャップに思わず唖然とした。家族や恋人に行き詰まり、家と仕事を失った主人公、碧が自分のやりたい事と本気で向き合いながら、自分の居場所を築いていく物語だ。自分の明日は自分で変えられる。大切なのは自分自身がどう生きていきたいか。結果がどうであれ、わたしは自分の行動に胸を張れるような事をしていきたい。

学年		科	寸感文
クラス	2年	A	「葉桜の季節に君を想うということ」は、最初は淡い恋愛小説のように進むが、物語が進むにつれて謎が深まり、最後の一文で全てがひっくり返る衝撃を与えてくれる作品だった。読み終えた瞬間の驚きと同時に切なさや余韻が胸に残る。もう一度最初から読み返すと、伏線や細かな仕掛けに気づき、作者の巧みな構成力に感心させられる。本格ミステリーの面白さと人間ドラマの両方を味わえる傑作だと思った。
氏名	* * * *		
書名	葉桜の季節に君を想うということ		
作者名	歌野晶午		

学年		科	寸感文
クラス	2年	A	私がこの本を読もうと思ったきっかけは、謎を解く探偵役が「認知症の祖父」であるという珍しい設定に惹かれたからである。この本は六つの章で構成されている。殺人事件などが絡まない日常に潜む謎もあるが、切迫感のある本格的なミステリーもある。だが、認知症の祖父によって、どんな結末でも最終的にあたたかい気持ちになる。読み終えたときに、家族や友達など、身近な人との時間を大切にしたいと思える素敵なミステリーだと思う。
氏名	* * * *		
書名	名探偵のままでいて		
作者名	小西マサテル		

学年		科	寸感文
クラス	2年	P	<p>この本を読んで、人は誰でも心に深い傷や悩みを抱えながら生きているのだと感じた。登場人物たちは孤独や不安を抱えつつも、互いに支え合いながら少しずつ前を向いて歩いていく。その姿は、水底から星を見上げるような小さな希望を探し続ける強さを教えてくれた。困難に直面したとき、どんな状況でも希望を信じていきたいと思った。そして、小さな一歩でも進み続けることの大切さを意識しながら生きていきたいと感じた。</p>
氏名	* * * *		
書名	水底のスピカ		
作者名	乾ルカ		

学年			科	寸感文
クラス	2年	P		
氏名	* * * *			
書名	ノルウェイの森			
作者名	村上春樹			

静かな反省の物語に心が奪われた。死と相対する人物達の繊細な心情が、私の胸に宿る感情を締め付けた。他者に愛を向けることの意義、共生してきたものを喪失することの痛み、それらに人の生き様を考えさせられた。夢の国のように、幸福で滑稽な話ではない、甘さを失った美しい言の葉と、連なるように漂い満たしている空気は、物語に入らんとする者の心情に深く溶け、染み渡る。静寂の余韻を残す儚い物語を綴った一冊だった。

学年		科	寸感文
クラス	2年	Ma	
氏名	* * * *		
書名	「できること」を楽しむ人、「できないこと」で苦しむ人		
作者名	和田 秀樹		

この本は作者の人生の経験を生かして幸せな人生になるためのコツや思想が書かれています。私がこの本で学んだことはあらゆる視点から物事をとらえプラス思考に変えていくということです。誰にしる得意不得意、好き嫌い、成功や失敗があります。その中で自分に今何ができるのか、どうやったら成長につなげていくかをポジティブに考え行動することによって人生が豊かになるのではないかと思います。

学年			科	寸感文
クラス	2年	Ma	<p>五体不満足を読んで、僕は人間らしく生きるとはどういうことなのか考えた。両手両足がなく、自分自身では生きていくことさえ難しい状態では、人間らしく生きていくことができないのかと考えた。</p> <p>僕は人間らしく生きるとは、単に便利さを求めて生活を楽にできるように充実させていくことではなく、人に何を言われようと自分自身が幸福であると言い切れるような人生を生きることが人間らしく生きるということであると考えた。</p>	
氏名	* * * *			
書名	五体不満足			
作者名	乙武 洋匡			

学年		科	寸感文
クラス	2年	Mb	オリент急行の殺人は、アガサ・クリスティの代表作であり、巧妙なトリックと緻密なキャラクター描写が印象的です。豪華な列車内で起こる殺人事件を名探偵ポアロが解決する過程は緊張感に満ちています。登場人物一人ひとりの背景や動機が巧みに絡み合い、この作品の捻破りの度合いには驚きでした。人間の欲望や秘密が絡み合う複雑な物語で、クラシックな推理小説の魅力を存分に味わえる一作であり、推理小説の金字塔と言える作品です。
氏名	* * * *		
書名	オリент急行の殺人		
作者名	アガサ・クリスティ		

学年		科	寸感文
クラス	2年	Mb	「コンビニ人間」を読んで私が感じた事は社会の「普通」に合わせることの難しさと、自分らしく生きることの大切さを考えさせられました。そして、村田沙耶香さんにとって「普通」というのは社会や周囲が作り出した当たり前の基準を指している、ということがわかりました。また、コンビニという小さな世界で安心を見出す主人公の姿に共感しつつも、周囲の目に縛られる現実の厳しさを感じました。
氏名	* * * *		
書名	コンビニ人間		
作者名	村田 沙耶香		

学年			科	寸感文
クラス	2年	E		<p>クジラは10～30ヘルツで鳴く、だが世界には一頭だけ、52ヘルツで鳴くクジラが存在する。ヘルツが違うため他のクジラに声は届かない、いや、届けられない。</p> <p>主人公貴瑚は東京から大分の小さな海辺の町にひとりで越してくる、そこで母に虐待を受け、声を出せない少年に出会う。2人は少しずつ距離を近づけていき、お互いの過去を打ち明けていく。少年の声が出せない理由とは。貴瑚が突然大分の小さな町に来た訳とは。</p>
氏名	* * * *			
書名	52ヘルツのクジラたち			
作者名	町田そのこ			

学年			科	寸感文
クラス	2年	E		
氏名	* * * *			
書名	科学がつきとめた「運のいい人」			
作者名	中野信子			

運のいい人は偶然恵まれているのではなく、柔軟な思考や前向きな姿勢、人とのつながりを大切にする行動習慣によってチャンスを引き寄せている。この本には実験や調査を通じ、直感を信じる、失敗を学びに変える、変化を受け入れるといった具体的な方法が紹介されており、誰でも運のいい人になれる実践的な方法が示されている。運とは突然に身をまかせることではなく、自分の意志や努力で動かせるものだということに気づいた。

学年		科	寸感文
クラス	2年	Ei	<p>文字は知識を体系化し我々に力を与えるが、その代償として現実の感覚を蝕んでいく。この「文字禍」を暴いた博士が、自らも分析の末に精神を崩壊させ、最後は書物の重みで圧殺される。最後は強烈な皮肉に満ちている。これは単なる寓話ではない。情報に溺れ、生身の現実から乖離しがちな現代の我々への鋭い警告である。知性の発展の影で失われた根源的な生命力の大きさに、静かな、しかし確かな戦慄を覚えずにはいられない。</p>
氏名	* * * *		
書名	文字禍		
作者名	中島敦		

学年			科	寸感文
クラス	2年	Ei	<p>今年は、戦争から八十年という節目の年です。この本は、八十年前の広島、長崎への原爆投下が正しかったのか、アメリカの視点でディベートする物語です。肯定派と否定派に分かれて討論し、最終的には否定派が勝利します。僕も否定派ですが、この本が一番伝えたいのは、何派よりも意見をぶつけ合うことで新しい視点が生まれるという感覚だと思いました。だからこそ、僕たちが語り合い、新しい平和という道を築いていきたいです。</p>	
氏名	* * * *			
書名	ある晴れた夏の朝			
作者名	小手鞠るい			

学年		科	寸感文
クラス	2年	R	<p>この物語は喜劇的だと言われているが、私はそう思わない。憎しみ合う家の中で芽生えた二人の純粋な愛が衝撃的で心を打った。特に短い時間で命を懸けるほど深く愛し合う姿は、美しくも切なく、最後の悲しすぎる結末は胸に重く残った。愛の尊さと同時に、意味を持たない、誰のためにもならないような醜い対立の愚かさを深く痛感させられた物語だと感じた。二人の悲しくも儚く美しい恋物語は読み手をとて感動させるものだった。</p>
氏名	* * * *		
書名	ロミオとジュリエット		
作者名	ウィリアム・シェイクスピア		

学年		科	寸感文
クラス	2年	R	「ショートケーキ」、高校生になってもこの言葉を聞くとテンションが上がる人はいるだろうか。クリスマスや誕生日、大切な時間の象徴といえるケーキ。本書はそんなケーキを題材にした連作集。父子家庭でやるせない気持ちを抱えている女子大生、ケーキ屋のアルバイト、初めての育児がままならないお母さん、中小企業のサラリーマン。彼らの人生がケーキを通して少し重なる、甘くはないけど暖かい物語を是非読んでほしい。
氏名	* * * *		
書名	ショートケーキ。		
作者名	坂木 司		

学年		科	寸感文
クラス	3年	C	この本は捨て子の主人公と、誰よりも主人公のことを強く愛す母親との生活を描いた物語。話が一変するような事件は起きない。けれど、そこがまたリアルで興味深く、親子の絆とは何かを教えてくれる。人と人が繋がっていく上で一番大切なことは、血縁でも共通の趣味でもなく「愛」だと感じた。私は、今やこれからの人生の中で出会う人との関係において、形は無くとも確かに存在する絆を大事にしていこうと思った。
氏名	* * * *		
書名	卵の緒		
作者名	瀬尾まいこ		

学年		科	寸感文
クラス	3年	C	<p>この本は文字も家も考え方も全てがさかさまな町の物語だ。一見めちゃくちゃに思えるが、理屈を聞くと納得することばかりである。中でも、印象に残ったのは学校の「わすれよ科」という授業だ。失敗や嫌な気持ちを忘れられたら、前向きになれたり、争いが減ったりするだろう。この話で忘れることは生きていく上で必要なことなのだと気づかされた。この本は常識だと思っていることを一度疑ってみる大切さを教えてくれる作品だと思う。</p>
氏名	*****		
書名	さかさ町		
作者名	F. エマーソン・アンドリュース		

学年		科	寸感文
クラス	3年	D	<p>ミステリー小説は読んでいたがホラー小説をあまり読んでこなかった私にとって、この1冊は答えが分かりきらない面白さや、考察したり調べたりする楽しさを教えてくれるものになりました。また、主要人物である3人も個性的であり、セリフが続くシーンも誰が発言しているのか分かりやすくされていて人間性の違いまで楽しんで読むことができました。様々な情報からこういうことなのではと考えるのが好きな人に薦めたい1冊です。</p>
氏名	* * * *		
書名	穢れた聖地巡礼について		
作者名	背筋		

学年		科	寸感文
クラス	3年	D	<p>この本は、主人公の少年の身体が金塊に変化していく病を患う少女に出会うという物語です。お金という目に見える価値が、彼女の生きていた価値を掻き消す中で、どうしたら大切だと証明できるのかと苦しむ主人公に、読みながらとても共感しました。私はこの本を読んで、人間の感情を言葉で証明することの難しさを感じると同時に、思い出やその人の価値は自分にしか分からないのだから、言葉や気持ちを大切にしたいと思いました。</p>
氏名	*****		
書名	夏の終わりに君が死ねば完璧だったから		
作者名	斜線堂有紀		

学年		科	寸感文
クラス	3年	A	主人公は漠然とした不安に心を囚われていたが、檸檬によって解放されるという物語。これを読んで感じたのは爽やかさだ。主人公の苦悩についつい共感してしまう秀逸な心理描写によって、読者の心にある不安も檸檬爆弾が破壊してくれる。この先の人生で漠然とした不安に苛まれることが多々あるだろう。そんなときのために自分にとっての檸檬を探すのもいいかもしれない。あるいは、またここに戻ってくるのもいいかもしれない。
氏名	* * * *		
書名	檸檬		
作者名	梶井基次郎		

学年		科	寸感文
クラス	3年	A	<p>この物語は、一生に一度だけ、死者との再会を叶えてくれるツナグによる感動的ファンタジー。この本を読んで私は、今家族や友達など多くの人に会えていることが当たり前ではない、ということに気付かされた。自分の思いを相手に伝えることが大切だということが、この本の1番の印象となった。思いを伝えたくても、突然伝えられなくなってしまうこともある。だから私は、今みんなと会えているということを大切にしていきたい。</p>
氏名	* * * *		
書名	ツナグ		
作者名	辻村深月		

学年		科	寸感文
クラス	3年	P	あなたは自殺と聞いてどのような印象を持つだろうか。周囲やインターネットでは、しばしば「個人の自由な意思に基づくのなら、自殺は肯定されるべきだ」という意見がある。私もそのような認識を今まで抱いていた。しかし、この本を読んでその認識は間違いであったと気付かされた。自殺は自由意志のない強制的な死であると、筆者は繰り返し述べていた。この考えが社会全体に広まれば自殺者は減るのではないかと感じた。
氏名	* * * *		
書名	自殺予防		
作者名	高橋祥友		

学年			科	寸感文
クラス	3年	P		<p>あなたは勝負をする際、何を1番大切にしますか。この物語は、剣道の考え方や性格が正反対の二人の女子高生が、ぶつかり合いながらも互いに認め合い成長していく話です。</p> <p>私自身も剣道をしていて、勝負において何を大切にしているか考えたとき、私は香織の勝敗を中心に置く考え方よりも、早苗の勝敗までの過程を大切に考える方に近いと思いました。勝負には勝敗がつきものですが、本当にそれが1番大切か考えさせられました。</p>
氏名	* * * *			
書名	武士道シックスティーン			
作者名	菅田哲也			

学年		科	寸感文
クラス	3年	Ma	<p>この本は、のび太のセリフから得られる学びが36個にまとめられています。普段はダメな子と思われがちなのび太ですが、その行動や言葉には、優しさや、つい忘れてしまいがちな当たり前の大切さが詰まっていました。のび太は完璧ではないけれど、一生懸命に生きる姿から、できない自分も受け入れて前を向く勇気を学びました。その姿勢こそが、これからの人生をよりよく生きるために大切なことだと感じました。</p>
氏名	* * * *		
書名	「のび太」が教えてくれたこと		
作者名	横山泰行		

学年			科	寸感文
クラス	3年	Ma		
氏名	* * * *			
書名	博士の愛した数式			
作者名	小川洋子			

この本は、80分しか記憶が続かない博士と、家政婦、そしてその子供が出会い心を通わせる物語です。博士は数学を深く愛し、数式を通じて人とのつながりを見つけます。最初は難しい話だと思ったけれど、博士のまっすぐな思いにふれるうちに、数字が人の心を結ぶ力を持つことに気づくことができました。温くて少し切ない、忘れられない作品となっているので、読む回数を重ねるごとに感じ方が変化します。ぜひ読んでみてください。

学年		科	寸感文
クラス	3年	Mb	主人公がイギリスの学校で出会うクラスメイトたちは、国籍も価値観もばらばらで、時にぶつかり合いながらも友情を築いていく。その姿を読んで、世界は単純な「黒」ではなく、無数の色が重なり合っているのだと感じた。差別や対立の場面では胸が重くなったが、それを超えて人とつながろうとする姿勢に勇気ももらった。自分の中の「ブルー」もまた、誰かと混ざれば新しい色になるのだと思った。
氏名	* * * *		
書名	ぼくはイエローでホワイトでちょっとブルー		
作者名	ブレイディみかこ		

学年		科	寸感文
クラス	3年	Mb	<p>この小説を読み、胸が締めつけられる思いがしました。孤独や痛みを抱える人々が触れ合い、少しずつ救われていく姿が印象に残りました。特に「52ヘルツのクジラ」は孤独を象徴しているように感じ、深く共感しました。</p> <p>この小説を読むことで「周りの人の小さな声に気づけているだろうか」と、自分に問いかける気持ちになりました。人とのつながりや相手の声に耳を傾ける大切さを、改めて考えさせてくれる一冊でした。</p>
氏名	* * * *		
書名	52ヘルツのクジラたち		
作者名	町田　そのこ		

学年			科	寸感文
クラス	3年	E		<p>この本は、久喜雄司と妻の夕里子が太平洋戦争で戦死した大伯父の貞市の日記が届き、久喜家の墓から貞市の名が削られたことを機に、怪異に巻き込まれていくミステリーホラー小説である。雄司は日の終わりに悪夢を見るが、その描写がグロテスクであり、恐怖を掻き立てる。現世で起こる怪異と、雄司の悪夢によるホラーと、終盤のスピード感が魅力的で、難解な内容であるものの、逆にホラー要素が強調されるため、ホラーが好きな人にオススメ。</p>
氏名	* * * *			
書名	火喰鳥を、喰う			
作者名	原浩			

学年			科	寸感文
クラス	3年	E		<p>この本を読むまでは、いわゆる「赤化」や共産主義について理解しがたいものでした。しかし、権力を持つ監督が猛威を振るい、それに怯える労働者はほとんど人権がないような生活を強いられる。資本主義の悪いところが、これでもかと詰め込まれた内容に、私は社会の正しい在り方とは何かと考えさせられました。最後に革命的行動を起こしても失敗に終わる点には、社会の不条理さや、現実の厳しさを感じ、胸が痛くなりました。</p>
氏名	* * * *			
書名	蟹工船			
作者名	小林多喜二			

学年			科	寸感文
クラス	3年	Ei		
氏名	* * * *			
書名	アルジャーノンに花束を			
作者名	ダニエル・キイス			

私はこの本を読んで、愛情や倫理観の大切さを学びました。知的障害を持った主人公は、大学からの勧めで頭が良くなる手術を受けましたが、自分が過去にいじめられていた事や家族から捨てられたことを理解してしまい、辛い気持ちになっていました。また、大学側が主人公を人間ではなく実験物として見ていたこと、主人公自身が知的障害者を嘲笑してしまったことには、とても胸が痛みました。知能は愛を排除する傾向にあると考えました。

学年			科	寸感文
クラス	3年	Ei		
氏名	* * * *		知的障害を持ち、大人になっても幼児並の知能しかない主人公が手術によって天才的な頭脳を手に入れる話だ。夢を叶えたかのように思えるが、知能と引き換えに大事な物を失い、また最終的には知能も戻ってしまう。文章も特徴的で、ひらがなばかりの子供の話し言葉のような文から、知能向上につれて堅く冷めた文へと変わる。頭が良くなったことで見えてしまった闇から、知能と幸福の関係や孤独について強く考えさせられた。	
書名	アルジャーノンに花束を			
作者名	ダニエル・キイス			

学年		科	寸感文
クラス	3年	R	「黒猫」は、江戸川乱歩の名前の由来でもあるエドガー・アラン・ポーの書いた作品で人の心に潜む狂気と罪悪感を描いた作品です。 主人公は酒に溺れ、愛していたはずの黒猫に残酷な仕打ちをし、ついには殺してしまいます。その罪が次第に主人公を追い詰めていき…という作品です。 黒猫は罪悪感の象徴として現れ、逃げ場のない恐怖と破壊へ導きます。罪の報いからは逃れられない、という重さを痛感しました。
氏名	* * * *		
書名	黒猫		
作者名	エドガー・アラン・ポー		

学年		科	寸感文
クラス	3年	R	<p>ヒマラヤで発掘された二百年前の人骨のDNAが四年前に失踪した妹のものと一致するという、あらすじを聞くだけで物語の先が気になってしまうのが、一次元の挿し木という本です。妹が失踪した理由や、話の節々に感じていた違和感が、終盤になるにつれ真相に近づくための伏線となり、全てが一つに繋がります。物語のスケールが大きく、ミステリー小説として読み応えがあるので、普段から本を読まない人にもオススメできる本です。</p>
氏名	* * * *		
書名	一次元の挿し木		
作者名	松下 龍之介		